

蒲生干潟の植物④

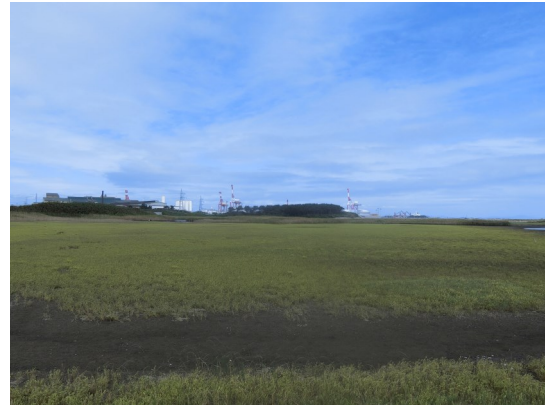
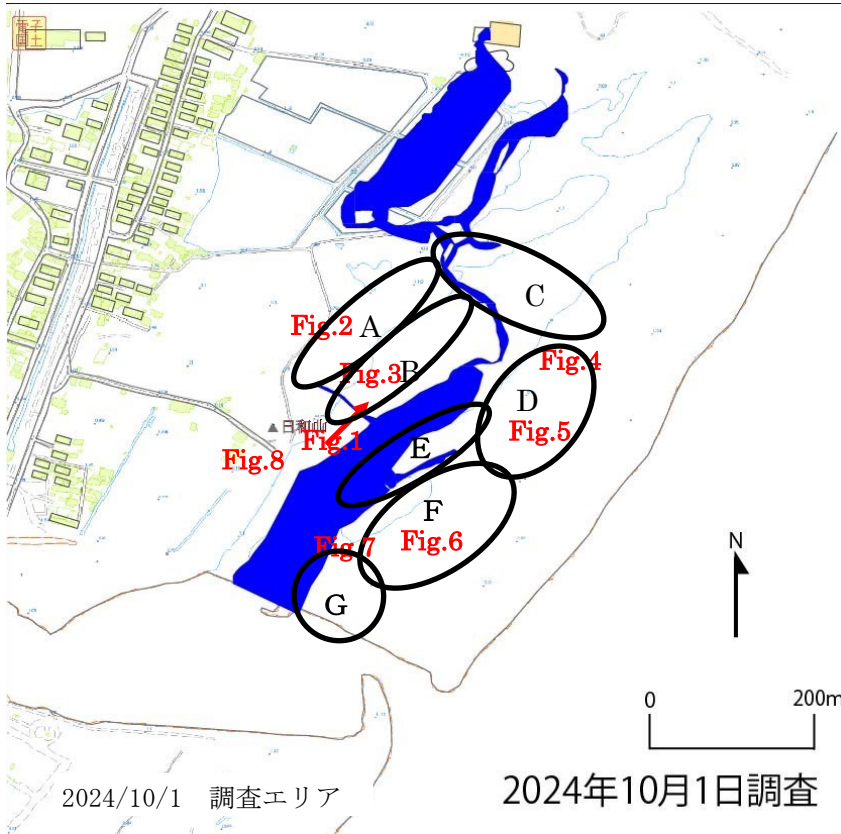


Fig.1 エリアBを南西側から撮影



ヨシ

Fig.2 エリアAで撮影



ハママツナ

Fig.3 エリアBで撮影



ハマニガナ

Fig.4 エリアDで撮影



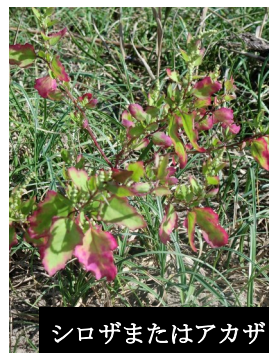
オニシバ

Fig.5 エリアDで撮影



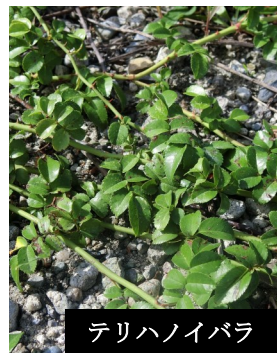
ウンラン

Fig.6 エリアFで撮影



シロザまたはアカザ

Fig.7 日和山南側で撮影



テリハノイバラ

Fig.8 日和山南側で撮影

調査日時：2024年10月1日（火）12:55～14:10、天気：晴れ

今月も9月中に調査できなかったため、10月初旬の調査となった。定点観測では、ハママツナが全体を覆っており、雨等に流失は今月もなかった(Fig.1)。エリアAのヨシは、穂ができており、すでに茶色くなっていた(Fig.2)。9月中に色が変わったと思われる。エリアBのハママツナは、先月同様群生した塊が多数見られた(Fig.3)。エリアC～Dでは、今月もハマニガナの花が見られた(Fig.4)。エリアDでは、オニシバが多数生えているのが確認できた。これまでエリアFで数多く見られていたが、生息域が北上してきているようだ(Fig.5)。エリアFではウンランの花が満開となっている(Fig.6)。エリアGの汀線沿いで見られたホソバノハマアカザの中に、1個体だけシロザまたはアカザと思われる個体が見られた(Fig.7)。1個体のみであったので、今後の変化を注視したい。日和山南側のテリアノイバラは枯死せず順調に生育しているようであった(Fig.8)。日和山北側のハマナスについても今月も花が咲いているのを確認できた。

(宮崎佳彦)